

事例 7

タイトル：帰宅願望があり毎日緊張して生活している。

・ <事例の状況>

朝「今日帰るの?」と1日がスタートする。朝起きると帰ることを念頭に置き、生活している。その都度、お茶、会話、お手伝い等お願いしている。生活に切れ間のないように対応しているが、ふとした瞬間に「帰ります。」と帰宅願望が出てしまう。外に出ると民家へ飛び込み、暴言暴力と迷惑を掛けたことがある。

【この事例で課題と感じている点】

職員は帰宅願望が強い本人に対して、少しでも居心地が良いように、本人の表情を見ながら、手伝い等、関わりをしているが、ちょっとした瞬間に帰宅願望が出て、スイッチングが上手く出来ず、本人、スタッフが毎日緊張して生活している。

・ <キーワード>

帰りたい。 一人外出。 暴言暴力。

・ <事例概要>

【年 齢】 80台半ば

【性 別】 女性

【職 歴】 教師 主婦 福祉職養成講師

【家族構成】 一人暮らし(長女が隣接生活)。長男が面倒を見ていた。

【認知機能】 HDS-R 3点

【要介護状態区分】 要介護度3

【認知症高齢者の日常生活自立度】 a

【既往歴】 高血圧症

【現 病】 高血圧症 アルツハイマー型認知症

【服 用 薬】 アリセプト・バイスピリン・パリエット・テブレノン

ユベラNソフトカプセル・マグミット・ムコダイン・テオドール

【コミュニケーション能力】 日常会話は成り立つ。問題なし。

【性格・気質】 普段は社交的。プライド高い。

【A D L】 食事は自立。排泄は自立。入浴は一部介助。着脱は一部見守り。

【障害老人自立度】

【生きがい・趣味】 働く事 役に立つこと

【生活歴】 教師をしていた。子育てのため退職する。専業主婦。家庭奉仕員から福祉職養成講師となり定年まで勤める。子供4人を立派に育てる責任を果たそうと暮らしていた。

【人間関係】 社交的で面倒見が良い。

【本人の意向】 他人の世話になりたくない。老人ホームで暮らしたい。

【事例の発生場所】 認知症グループホーム(認知症対応型共同生活介護)